

# 優良家系の多元交配による実用鶏造成試験

## (Ⅱ) 昭和41年組合せ鶏の終了成績および

### 昭和42年組合せ鶏の短期成績について

名 倉 清 一 齊 藤 季 彦

小 林 正 大 齊 藤 伝 吉

#### 1. はじめに

外国コマーシャル鶏の急速な進出に対処するため、国内優良種鶏あるいは輸入種鶏をもって優良実用鶏の生産を図るため、昭和38年以降国において抽出した優良系統を計画的に交配して、その組合せ鶏の種鶏としての利用価値や採卵鶏としての実用価値について検討し、優良実用鶏の生産体制を確立するために本試験を実施した。

本年度は昭和41年鶏の終了成績および昭和42年鶏の短期成績について報告する。なお本試験は昭和40年度より国および関係県相互の協力のもとに実施しているものである。

#### 2. 供用した当场基礎系統の概要

##### A. 白レグd系統＝

この系統は昭和38年卵数系の優良系統として国に抽出されたものである。従来はB系統と称していたが、昭和43年3月全国共通名称としてd系統と名称を変更した。卵数系としての特徴を維持しつつ統一性の向上を図る。

##### B. 白レグB系統

この系統は昭和40年米国 Brander 農場より卵重系統として輸入し、従来はBr系と称していたが全国共通系統名としてB系統と名称を変更した。

昭和41年より東日本地区組合せ検定の卵重系として供用し、昭和43年3月卵重系として全国の優良家系に加えられた。卵重に重点をおいた育種を行ない系統の特徴を明確にする。

##### C. ロードP系統＝

この系統は旧大宮種畜牧場より譲渡を受けた Parmenter 系を35年頃よりまとめた系統で、昭和41年より東日本地区組合せ検定の供用系統である。強健性、産卵性にすぐれている。

#### 3. 試験方法および区分

##### A. 試験方法

(1) 場内試験

場内試験には組合わせ検定全国区、東日本区、都単とあるが、三者とも同一方法で実施した。

1 組合わせ当り雄4羽、雌30羽を交配し、それより採取した雌びなについて餌付より150日令を育成期間とし以後500日令までを産卵期間とした。育成期間は幼雛、中雛、大雛ケージで育成し産卵期間は単飼ケージに収容した。飼料は市販の完全配合飼料を給与し、緑餌は無給与とした。点灯は日照時間と合わせて14時間とし、その他の管理は場の慣例に従った。

(2) 民間委託試験

民間の採卵養鶏場に場内試験の1部の組合わせを委託し、一般養鶏場における成績をみた。委託養鶏場は西多摩地区、北多摩地区、南多摩地区からそれぞれ1ヶ所づつ、農業改良普及所より選定してもらい、その後実施の指導に協力してもらった。

(3) 種畜牧場後代調査

後代調査としての種畜牧場の譲渡びなについて組合わせ試験と同様に実施した。

B. 試験区分

(1) 当场実施分

昭和41年の試験区分は第1表、昭和42年の試験区分は第2表のとおりである。

第1表 昭和41年鶏試験区分

区 分	試験区分	交 配 様 式		実施場所	摘 要	
		雄	雌			
コントロール 全国区	試験1区	白河G	× 白河C	当 場	全国統一コントロール郡	白レグ2元
"	" 2 "	長崎a	× 東京d	"	卵産系と卵数系の交配	"
"	" 3 "	岡崎B	× 東京d	"	同 上	"
東日本区	" 4 "	栃木A※	× 東京d	"	同 上	"
都 単	" 5 "	東京B※	× 東京d	"	同 上	"
"	" 6 "	東京d	× 東京B	"	卵数系と卵重系の交配	"
東日本地区	" 7 "	東京B	× 東京ロード	"	卵重系とロードの交配	ロードホーン
民間委託	" 8 "	同	上	西多摩地区A	"	"
"	" 9 "	同	上	北 " B	"	"
"	" 10 "	同	上	南 " C	"	"
東日本地区	" 11 "	東京d	× 東京ロード	当 場	卵数系とロードの交配	"
民間委託	" 12 "	同	上	西多摩地区A	"	"

民間委託	試験13区	東京d × 東京Pロード	北多摩郡B		ロードホーン
"	14	同 上	南 C		"
民間委託	15	白河Yロード × 白河B	当 場	ロードと卵数系の交配	逆交配
"	16	白河G × 白河B	"	白レグ2元	白レグ2元
"	17	白河L × 白河C	"		"
"	18	白河G × 白河C	"	後代調査の対照表	"

※印は、最近の輸入系統、栃木Aはタンソニー系、東京Bはブレンダー系。

第2表 昭和42年鶏試験区分

区 分	試験区分	交配様式 雄 雌	実施場所	備 考
コントロール	試験1区	外国鶏コマーシャル	当 場	全国統一コントロール鶏群
全国区	" 2 "	福岡N※ × 東京d	"	白レグ2元
"	" 3 "	徳島M × 東京d	"	"
"	" 4 "	山梨L × 東京d	"	"
"	" 5 "	埼玉K※ × 東京d	"	"
東日本地区	" 6 "	埼玉Q※ × 東京d	"	"
都 単	" 7 "	東京B※ × 東京d	"	"
東 区	" 8 "	埼玉K × 東京Pロード	"	ロードホーン正
都 単	" 9 "	東京Pロード × 東京d	"	" 逆
"	" 10 "	東京Pロード × 東京B	"	" 逆
"	" 11 "	東京B×(徳島K×東京d)	"	白レグ3元
"	" 12 "	東京B×(栃木A※×東京d)	"	"
東日本地区	" 13 "	埼玉K×(東京d×東京Pロード)	"	ロード利用の3元
"	" 14 "	東京B×(東京d×東京Pロード)	"	"
民間委託	" 15 "	同 上	西多摩郡A	"
"	" 16 "	同 上	北 " B	"
"	" 17 "	同 上	南 " C	"
都 単	" 18 "	東京d×(東京B×東京Pロード)	当 場	"
民間委託	" 19 "	同 上	西多摩郡A	"
"	" 20 "	同 上	北 " B	"
"	" 21 "	同 上	南 " C	"
白河後代	" 22 "	白河G×(白河Yロード×白河H)	当 場	"
"	" 23 "	" K×(同 上)	"	"
"	" 24 "	" L×(同 上)	"	"
"	" 25 "	" L×(白河Yロード×白河C)	"	"
"	" 26 "	" G× 白河C	"	"

※印は最近の輸入種鶏 福岡Nホースゲート系 埼玉Kガーバー系 埼玉Qカーリー系  
東京Bブレンダー系 栃木Aアンソニー系

(2) 他県で当該基礎系統を供用しての試験

当該基礎系統を供用しての他県での組合わせ試験は、昭和41年度鶏は栃木県で白レグ d 系を供用して1組合わせ、42年度鶏は白レグ B 系を供用して山形県で5組合わせ、福島県で3組合わせ、神奈川県で1組合わせ行ない、白レグ d 系を供用して山梨、徳島、福岡、埼玉の各県で1組合せずつの計14組合わせについて実施している。

4. 試験結果

A. 昭和41年鶏の終了成績

昭和41年鶏の即付より500日台間の総合成績は第3表のとおりである。

第3表 昭和41年鶏の総合成績

区 名	交 配 様 式 雄 雌	育成 率 %	生存 率 %	残存 率 %	50% 産 卵 日 令	産 卵					10ヶ月 令 体 重	飼 料 要求率	摘 要
						ヘン デイ (%)	ヘン ハウス (個)	終 了 鶏 (個)	10ヶ 月 令 卵 産	1日1羽 当り 生産卵重			
1	白河G×白河C	98	79	59	166	6.7	186	263	5.8	3.7	1,990	2.88	
2	長崎a×東京d	85	87	6.4	164	5.8	177	217	5.7	3.1	1,760	3.19	
3	岡崎B× "	90	87	7.2	166	6.3	193	222	5.7	3.4	1,980	3.20	
4	栃木A× "	90	96	8.8	155	6.3	211	216	5.9	3.4	1,910	2.92	
5	東京B× "	97	92	8.0	159	7.3	236	255	6.0	4.2	1,790	2.59	※
6	東京d×東京B	97	94	8.6	158	6.3	207	215	5.8	3.4	2,060	3.27	
7	東京B×東京Port	90	95	8.6	162	7.3	241	261	6.3	4.4	2,200	2.77	※
8	同 上(A)	96	92	8.2	—	7.9	243	277	6.0	4.7	—	2.56	
9	同 上(B)	96	94	7.6	154	7.1	234	262	6.2	4.2	—	3.01	
10	同 上(C)	88	85	7.4	153	7.4	221	278	5.9	4.3	—	2.83	
7~10の平均		93	92	8.0	156	7.4	235	270	6.1	4.4	(2,200)	2.79	
11	東京d×東京Port	87	90	8.0	159	7.3	228	266	5.9	4.2	1,990	2.69	※
12	同 上(A)	91	90	7.8	—	8.1	244	276	5.8	4.6	—	2.51	
13	同 上(B)	93	95	7.1	153	7.0	232	255	5.7	3.9	—	3.11	
14	同 上(C)	96	81	5.7	159	6.7	190	259	5.5	3.6	—	3.13	
11~14の平均		92	89	7.2	157	7.3	224	264	5.7	4.1	1,990	2.86	
15	白河Port×白河B	98	89	6.9	160	6.0	181	235	5.5	3.2	2,120	3.00	
16	" G × " B	85	70	4.4	156	5.6	136	238	5.1	2.9	1,920	3.64	
17	" L × " C	100	83	6.2	158	6.9	200	255	5.5	3.7	1,830	2.52	
18	" G × " C	96	83	4.5	156	6.4	158	258	5.3	3.3	1,920	3.54	

白レグの2元交配では試験5区の東京B系雄と東京d系雌の交配が優れた成績を示した。

白レグ雄にロード雌の交配は民間委託試験を含めて、東京B系雄と東京ロードp系雌の交配の7区から10区の4試験区、東京d系雄と東京ロードp系雌の交配の11区から14区の4試験区の成績は4ヶ所の飼養場所とも比較的すぐれた成績を示し、その平均成績は東京d×東京pの組合わせて育成率92%、生存率89%、残存率72%、50%産卵日令157日令、生存延羽数に対する産卵率73%、151日令時開始時羽数に対する1羽当り産卵数224個、終了時1羽当り産卵数264個、10ヶ月令時、前後3日間の平均卵重57g、生存延羽数に対する1羽1日の生産卵重41g、飼料要求率2.86で体重は民間委託試験では10ヶ月令時測定しなかったが、場飼養鶏の10ヶ月令体重は約2000gであった。この組合わせの試験は昭和39年に2試験区、昭和40年に4試験区について実施しており、2ヶ年の成績も本年の成績と殆んど同じような成績を得ている。

東京B系雄に東京p系雌を交配した4試験区の平均成績は育成率93%、生存率92%、残存率80%、50%産卵日令156日、ヘンデイ産卵率74%、ヘンハウス産卵個数235ヶ終了鶏平均1羽当り産卵数270個、10ヶ月令時卵重61g、1羽1日当り生産卵重は44g、飼料要求率2.79、10ヶ月令体重2.200gと10ヶ月令体重は東京d系雄と東京ロードp系雌の組合わせよりは劣るが、他の項目はわずかずつではあるが優れた成績を示している。この両組合わせについては都下の養鶏の実情より考え現時点では一般採卵養鶏場に配付してさしつかえないものと思われる。

種畜牧場鶏後代調査は試験15区から18区の4試験区について実施した結果、17区のL×Cの区が比較的すぐれた成績を示した。

第3表のうち試験5区の東京B系雄と東京d系の雌の交配、7区の東京B系雄と東京ロードp系雌の交配および東京d系雄と東京ロードp系雌の3組合わせは、昭和41年度全国組合せ検定194組合わせのうち19の優良組合わせが選定されたが、その優良組合わせに選定されたものである。なお昭和41年度の組合わせのうち第4表の成績より試験4区の栃木A系雄と東京d系雌の交配、試験7区、東京B系雄と東京ロードp系雌の交配、試験11区、東京d系雄と東京ロードp系雌の交配の3組合わせの試験鶏を昭和42年度組合せ検定ひな採取用雌として短期成績より撰抜し三元交配に供用し、試験終了鶏のうち試験4区栃木A系雄と東京d系雌および試験5区の東京B系雄と東京d系雌の交配の2組合わせについて昭和43年度組合せ検定用ひな採取用雌として選定し3元および4元交配に供用した。

#### B. 昭和43年鶏の中間成績

昭和42年鶏は現在試験を実施中であるがその短期成績を示せば第4表のとおりある。

第4表 昭和42年鶏中間成績

区名	交配様式	育成率	生存率	残存率	50% 産卵日令	産卵率		10ヶ月令		1羽 当り 生産 卵重	飼料 要求率
						ハウス 産	ケ 産	卵産	体重		
1	外圍鶏コマーシャル	96	98	98	164	68	69	61	1,830	37	2.84
2	福岡NX東京d	94	100	98	169	71	71	59	1,920	38	2.73
3	徳島NX "	92	91	87	186	49	54	56	2,010	27	3.56
4	山梨LX "	98	96	94	183	57	59	58	1,830	31	3.08
5	埼玉KX "	100	96	94	170	63	65	59	2,010	34	2.90
6	埼玉GX "	100	99	98	173	58	59	59	1,890	30	3.32
7	東京BX "	98	100	100	177	60	60	60	1,860	32	3.06
8	埼玉KX東京ロード	92	95	96	166	74	76	60	2,320	40	2.78
9	東京ロードX東京d	95	95	92	163	67	70	55	2,290	35	3.42
10	" X東京B	100	100	100	167	73	73	61	2,290	41	2.71
11	東京BX(徳島KX東京d)	92	93	91	177	54	56	59	2,000	30	3.55
12	" X(栃木AX東京d)	100	98	96	159	69	70	58	1,760	37	2.82
13	埼玉KX(東京dX東京ロード)	100	98	98	167	70	71	59	2,270	38	2.90
14	東京BX(東京dX東京ロード)	92	97	96	166	72	73	59	2,110	40	2.70
15	全上(A)	98	99	98	159	80	81	60	-	43	2.64
16	全上(B)	71	97	94	159	67	69	57	-	37	3.12
17	全上(C)	100	98	100	168	66	66	62	-	-	-
14~17の平均		90	100	97	163	71	72	60	-	40	2.82
18	東京dX(東京BX東京ロード)	100	98	98	156	76	76	60	2,250	40	2.84
19	全上(A)	100	100	99	162	77	77	59	-	41	2.84
20	全上(B)	87	99	92	161	69	70	57	-	37	3.18
21	全上(C)	100	99	96	163	62	63	60	-	-	-
18~21の平均		97	90	98	172	71	72	59	2,250	39	2.95
22	白BGX(白BYロードX白BE)	77	100	83	172	62	68	56	2,370	35	3.33
23	" KX(全上)	92	99	98	175	67	67	55	2,090	35	2.97
24	" LX(全上)	88	96	88	177	56	59	56	2,030	30	3.40
25	" LX(白河YロードX白河C)	84	93	91	169	65	69	56	1,960	35	3.10
26	" GX白河C	81	90	82	173	55	61	55	1,960	31	3.29

第4表は短期成績であるので500日令の試験終了時にはその成績に多少変化はあると思われるが、白レグの卵重系と卵数系の2元交配では試験2区の福岡Nと東京dの交配がすぐれており試験5区の埼玉Kと東京dの交配がそれに次いでいる。

白レグとロードの交配では試験8区の埼玉Kと東京ロードPの交配と試験10区の東京ロードpと東京Bの交配がすぐれている。

白レグの3元交配では試験12区の栃木Aと東京dの2元雌に東京Bを交配したものが比較的よい成績を示している。

ロードホーン正交配に白レグを交配したロード利用の3元交配では東京dと東京ロードpの2元雌に埼玉K雄を交配した試験13区、東京B雄を交配した試験14区から17区と東京Bと東京ロードpとの2元雌に東京dを交配した試験18区から21区の計9試験区について実施した。その成績は比較的良好で500日令の試験終了時の成績によっては一般養鶏場に配付してさしつかえないものも出るのではないかと推察される。

種畜牧場後代調査区は白レグG系とC系の交配を対照区としてロードホーン逆交配雌に白レグ雄を交配した4試験区について実施した、4区のうちでは白河ロードYと白河Hの交配雌に白河Kを交配した試験23区がすぐれた成績を示した。

昭和42年度全国組合わせ検定216組合わせ中16の優良組合わせが選定されたがその16の優良組合わせのうちに試験2区の福岡Nと東京dの交配、試験5区の埼玉Kと東京dの交配、試験13区の東京dと東京ロードpとの交配雌に埼玉K雄を交配したものの3組合わせが選定された。

なお昭和43年度試験鶏を採取するため試験2区、5区、6区、7区、8区、9区、10区、18区の8組合わせを撰抜し3元および4元交配の雌親として供用する計画である。

### C. 成績の評価について

上記第3表や第4表の成績の比較を便利にするために国の実用鶏の改良目標を参考にして昭和41年度暫定的に評価基準を作成したが、この評価基準をさらに昭和38年度当場で産卵能力検定鶏の評価に用いた評価基準、新潟県養鶏試験場における昭和41年度の経済検定評価基準などを参照し第5表の評価基準を設けてみた。この評価方法は充分検討を要するものであり、暫定的に設定したものであるから大方の御批判、御訂正により、より適正なものとし比較の便を図りたい。

なお短期成績の評価についてはその調査期間によって成績にかなりの変動があるので今回は短期成績の評価基準は設けないことにした。

第5表 試験成績の評価基準(500日令)

形質 評点	育成率	生存率	残存率	50%産卵	産卵率	産卵指数	10ヶ月令時
	0~1.5日 %	151~500日 %	151~500日 %	日令 日	ヘンデー %	ヘンハウス (個)	卵産 g
10	97以上	95以上	85以上	150以下	80以上	260以上	60以上
8	94~96	90~94	80~84	151~160	73~77	240~259	58~59
6	91~93	85~89	75~79	161~170	66~72	220~239	56~57
4	88~90	80~84	70~74	171~180	59~65	200~219	54~55
2	87以下	79以下	69以下	181以上	58以下	199以下	53以下
国の改良 目標	95	92	155	155	822		58

1羽1日生産 年産	10ヶ月令時 体重 g	飼料 要求率
43以上	1.8以下	2.5以下
40~42	1801 1.888	2.6~2.7
38~39	2.000 2.199	2.8~2.9
36~37	2.200 2.399	3.0~3.2
35以下	2.4以上	3.3以上
	1.75	

第5表の評価基準により、昭和41年鶏について評価すると第6表のとおりである。

表6表 昭和41年鶏の成績の評価

区 名	交配様式 雄 雌	育成 率	生存 率	残存 率	50% 産卵 日令	産 卵				10ヶ月 体重	飼料 要求率	評点 計	摘 要
						ヘンデー %	ヘンハウス 個	10ヶ月 卵重	1日1羽当 卵重				
1	白河G×白河c	10	2	2	6	6	2	8	4	8	6	54	
2	長崎a×東京d	2	6	2	6	2	2	6	2	10	4	42	
3	岡崎B× "	4	6	4	6	4	2	6	2	8	4	46	
4	栃木A× "	4	10	10	8	4	4	8	2	8	6	64	
5	東京B× "	10	8	8	8	8	6	10	8	10	8	84	※
6	東京d×東京B	10	8	10	8	4	4	8	2	6	2	62	
7	東京B×東京Pロ-ド	4	0	10	6	8	8	10	10	4	6	76	※
8	同上(A)	8	8	8	(8)	8	8	10	10	(4)	8	(80)	

区名	交配様式 雄 雌	育成率	生存率	残存率	50% 産卵 日令	産 卵				10ヶ月令 体重	飼料 必要率	評点 計	簡 要
						ヘガリ %	ヘガリス 個	10ヶ月 卵重	1日1羽当 生卵個				
9	東京B×東京Pロード(B)	8	9	6	8	6	6	10	8	(4)	4	(68)	
10	同 上 (C)	4	6	4	8	8	6	8	10	(4)	6	(64)	
7~10の平均		6	8	8	8	8	6	10	10	4	6	74	
11	東京d×東京Pロード	2	8	8	8	3	5	8	8	8	8	72	※
12	同 上 (A)	6	8	6	(8)	10	8	8	10	(8)	10	(82)	
13	同 上 (B)	5	10	4	8	5	6	6	6	(8)	4	(64)	
14	同 上 (C)	8	4	2	8	6	2	4	4	(8)	4	(50)	
11~14の平均		6	6	4	8	8	6	6	8	8	6	68	
15	白河Yロード×白河B	10	6	2	8	4	2	4	2	6	4	48	
16	" G × " B	2	2	2	8	2	2	2	2	8	2	32	
17	" L × " C	10	4	2	8	6	4	4	4	8	10	60	
18	" G × " C	8	2	2	8	4	2	2	2	8	2	40	

註1. ※印は昭和41年全国組合せ検定194組合せのうち優良組合16が選定されたが、その優良組合せに入ったものである。

2. ( )内数字は推定である。

評価基準により昭和41年鶏を評価すると最高84点、最低32点の間にあり民間委託試験の推定評価の試験区を除くと平均56.7の得点となり、60点以上の得点を示した区は試験5区の東京Bと東京dの84点、7区の東京Bと東京ロードpの76点、11区の東京dと東京ロードpの72点、4区の栃木Aと東京dの64点、6区の東京dと東京Bの62点、17区の白河Lと白河Cの60点の6組合せである。

なお第6表の※印のある組合せは全国組合せ検定のうち優良組合せとして選定されたものでありいずれも70点以上の得点を示している。

## 5. 要 約

国内優良種鶏あるいは輸入種鶏をもって国産優良実用鶏の生産を図るために昭和41年鶏は2元交配12組合せ、昭和42年鶏は2元交配10組合せ3元交配9組合せについてその種鶏としての価値の検討、採卵鶏としての価値の検討を行なった。その成績は昭和41年鶏は第3

表、第6表に昭和42年鶏は第4表に示したとおりである。

昭和41年鶏の白レグ2元交配では試験5区の東京B雄と東京d雌の交配がすぐれついで試験4区の栃木A雄と東京d雌の交配、試験6区の東京d雄と東京B雌の交配がすぐれた成績を示した。

白レグとロードの交配では試験7区から10区の東京B雄と東京ロードp雌の交配、試験11区から14区の東京d雄と東京ロードp雌の交配は両組合わせとも比較的すぐれた成績を示した。

昭和41年度鶏で全国194組合わせのうち19組合わせ及が優良組合わせとして選定されたが、その19組合わせの中に試験5区の東京Bと東京dの交配、試験7区の東京Bと東京ロードpの交配、試験11区の東京dと東京ロードpの交配の3組合わせが選定された。

なお試験4区の栃木Aと東京dの交配、試験7区の東京Bと東京ロードpの交配、試験11区の東京dと東京ロードpの交配の3組合わせの試験鶏を短期成績により選抜し昭和42年度3元交配に供用し、試験終了鶏のうち試験4区の栃木Aと東京dの交配および試験5区の東京Bと東京dの交配の2組合わせを昭和43年度試験鶏ひな採取用雌として選定し3元および4元交配に供用した。

昭和42年鶏は現在実施中であるが短期成績では白レグの卵重系雄と卵数系雌の交配で試験2区の福岡Nと東京dの交配がすぐれており次いで試験5区の埼玉Kと東京dの交配がすぐれている。

白レグとロードの交配では試験8区の埼玉Kと東京ロードpの交配、試験10区の東京ロードpと東京Bの交配がすぐれた成績を示している。

白レグの3元交配では試験12区の栃木Aと東京dの2元雌に東京Bを交配したものが比較的良好成績を示している。

ロードホーン正交配に白レグを交配したロード利用の3元交配では東京dと東京pの2元雌に埼玉K雄を交配した試験13区、東京B雄を交配した試験14区から17区と東京Bと東京ロードpとの2元雌に東京dを交配した試験18区から21区の成績が比較的良好成績を示している。

昭和42年度全国216組合わせのうち16の組合わせが優良組合わせとして選定されたがその中に試験2区の福岡Nと東京dの交配、試験5区の埼玉Kと東京dの交配、試験13区の東京dと東京ロードpとの交配雌に埼玉K雄を交配した3つの組合わせが選定された。

なお昭和43年度の試験鶏採取のために試験2区、5区、6区、7区、8区、9区、10区、18区の8組合わせを選抜し3元および4元交配に供用する予定である。

以上昭和41年鶏の終了成績、昭和42年の中間成績を述べたが試験終了鶏の昭和41年鶏について比較検討を便にするため第5表の評価基準を設けて第6表のような評価を試みた、70点以上を示した白レグ東京B雄と白レグ東京d雌の交配、白レグ東京B雄と東京ロードp雌の交配、白レグ東京d雄と東京ロードp雌の交配の3組合わせは現在の時点では都下の養鶏の実情から考えて一般養鶏場に配付してさしつかえないものと思われる。

おわりに本試験の実施にあたって御協力下さった西多摩郡清水養鶏場、北多摩郡乙幡養鶏場、南多摩郡白井養鶏場および担当地区農業改良普及所の方々に感謝の意を表します。